普及活動情勢報告（令和８年７月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

今作の後作オクラの出来は？　　～後作オクラ反省会～

出荷資材について意見交換を行う参加者たち

６月 18 日、ＪＡ高知県大方支所で、後作オクラ反省会が開催され、抑制キュウリの後作としてオクラを栽培している生産者８名、関係機関６名が参加しました。

農業改良普及課からは、新品種現地適応性試験の結果や天候に応じた温度管理について情報提供しました。

生産者からは、「曇雨天時の夜温管理で注意すべき点は何があるか」といった質問がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、後作オクラの安定生産に向けて支援していきます。

組織間での連携に向けて
～令和８年度 第１回幡多地域集落営農法人連絡協議会～

他県の事例紹介を行う普及指導員

６月 23 日、高知県中村合同庁舎で、令和８年度第１回幡多地域集落営農法人連絡協議会を開催し、管内集落営農法人 12 組織 12 名、関係機関 15 名が出席しました。

農業改良普及課からは、今年度の水稲の実証試験計画、他県の集落営農組織の事例について情報提供し、組織間広域連携について意見交換を行いました。

出席者からは、「広域連携の取組事例を聞くことができて良かった」「各組織の現状について知りたい」等の声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も法人組織の経営安定と組織間連携の推進に向けて支援していきます。

三原米のブランド化を振興しよう　　～三原米ブランド化研究会総会～

ブランド米について意見交換する参加者たち

６月 30 日、三原村農業構造改善センターで、三原米ブランド化研究会総会が開催され、生産者６名、関係機関９名が参加しました。総会では、昨年度の事業実績と今年度の事業計画が承認され、今年は 1.8ha で栽培が行われます。

農業改良普及課からは、今後の栽培管理と全国的なお米の流通について情報提供しました。

生産者からは、「今年のお米の買取額はどうなるのか」「カメムシの防除時期はいつか」等の質問がありました。

農業改良普及課は、今後も現地巡回を行い、ブランド米の生産安定に向けて支援していきます。

落とす果実と残す果実はどれですか？　～文旦摘果講習会（中村・大方合同）～

摘果の実演を行う普及指導員

７月７日、四万十市竹島の文旦生産者ほ場で、摘果講習会が開催され、生産者８名、関係機関７名が参加しました。

農業改良普及課からは、今年の気象状況や今後の管理作業、熱中症対策についての情報提供と摘果の実演を行いました。

生産者からは、「今年は降雨が十分にあったので、果実肥大が良好」「どの果実を落としたらよいか」といった意見や質問がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、高品質の文旦生産に向けた支援を行っていきます。

次作の高温対策を考えましょう！　～ＪＡ高知県宿毛支所イチゴ部会総会～

高温対策について説明する技師

７月８日、ＪＡ高知県宿毛支所で、宿毛支所イチゴ部会の総会が開催され、生産者 13 名、関係機関 14 名が参加しました。

農業改良普及課からは、今作の気象状況や花芽促進技術、高温対策、遮熱資材の実証試験結果などについて情報提供しました。

生産者からは、「高単価の 12 月に出荷するためには、高温対策が必須になる」「定植前に花芽分化の検鏡をお願いしたい」との声がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、次作の良苗の確保と高温対策技術の普及に向けて支援していきます。

米ナスの病害虫管理はどうなってる？
～ＪＡ高知県西土佐出張所米ナス部会現地検討会～

現地の米ナス生育状況を確認する参加者

７月９日、四万十市西土佐の米ナス生産者ほ場で、現地検討会が開催され、生産者 10 名、関係機関７名が参加しました。

農業改良普及課からは、梅雨明け後のかん水量と台風前後の薬剤散布について情報提供しました。

生産者からは、「うどんこ病とすすかび病の発生が多い」「農薬の散布量はどれくらいか」「農薬散布ノズルは、毎年新しい物に替えるといい」等の意見や質問がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、梅雨明け後のかん水や病害虫防除の実施状況について、確認・指導を行っていきます。

今年の水稲実証ほの生育は！？　　～営農改善協議会水稲部会現地検討会～

奨励品種決定調査試験ほで
説明を行う技師

７月 10 日、四万十市の現地ほ場４か所で営農改善協議会水稲部会の現地検討会が開催され、ＪＡ営農指導員８名、肥料メーカー１名、関係機関３名、農業改良普及課６名が参加しました。この現地検討会は、ＪＡ営農指導員と普及課職員の指導力向上のため、その年の実証ほの巡回調査を行うものです。

農業改良普及課からは、奨励品種決定調査試験、肥料試験、‘にじのきらめき’現地適応性試験の生育状況を報告しました。

営農指導員からは、「奨励品種の有望品種は？」「‘にじのきらめき’の特徴は？」等の質問があり、活発な意見交換が行われました。

農業改良普及課は、今後もＪＡとともに、水稲の指導力向上に向けて取り組んで行きます。

次作に向けて勉強しよう　　～黒潮町若手キュウリ勉強会～

キュウリの勉強会にて
説明を行う技師

７月 16 日、ＪＡ高知県大方支所で、黒潮町の若手促成キュウリ生産者を対象に勉強会を開催し、生産者 10 名、黒潮町農業公社の研修生２名、関係機関６名が参加しました。

農業改良普及課からは、畝と土づくりの基礎について情報提供し、また、高知県農業技術センターからは、促成キュウリにおける炭酸ガス施用方法や温度管理について情報提供がありました。

生産者からは、「果実に転流させるよい方法はないか」「かん水量は開花位置に影響するか」等の質問がありました。

農業改良普及課は、今後も促成キュウリの収量向上に向けて支援していきます。